

**製品名: FGFR4 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM80602**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.03%アジ化ナトリウムを含む PBS。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	88kDa

**抗原情報**

遺伝子名	FGFR4
別名	TKF; JTK2; CD334; MGC20292
遺伝子 ID	2264.0
SwissProt ID	P22455
免疫原	大腸菌で発現した FGFR4 の精製された組み換え断片。

**背景**

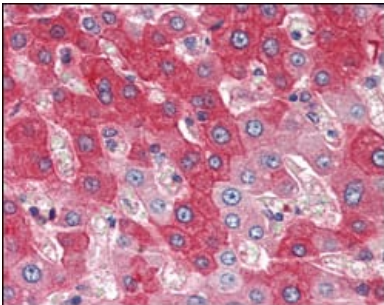
FGFR4（線維芽細胞増殖因子受容体 4）は、特定の増殖因子の生物学的機能を媒介する線維芽細胞増殖因子受容体ファミリーの一部です。FGF 受容体ファミリーには、FGFR-1 (flg)、FGFR-2 (bek、KGFR)、FGFR-3、FGFR-4 の 4 つのメンバーがあります。各受容

体は、細胞外リガンド結合ドメイン、膜貫通ドメイン、および細胞質キナーゼドメインを含みます。リガンド結合および二量体化後、受容体は特定のチロシン残基でリン酸化されます。これらの受容体タンパク質は、細胞分裂、細胞の成長と成熟の調節、血管の形成、創傷治癒、胚発生などの重要なプロセスにおいて役割を果たします。FGFR4の具体的な機能は未だ不明ですが、研究により、この遺伝子は筋肉の発達と頭蓋骨の骨細胞の成熟に関与していることが示唆されています。FGFR4は、眼球の奥にある光感受性層(網膜)内の特殊細胞(中心窩錐体と呼ばれる)の発達と維持にも関与している可能性があります。

## 研究分野

TGF- $\beta$ シグナル伝達経路、PI3K-Aktシグナル伝達経路、MAPKシグナル伝達経路、Hippoシグナル伝達経路

## 画像データ



FGFR4 mAb を使用したパラフィン包埋ヒト肝臓組織の免疫組織化学分析。